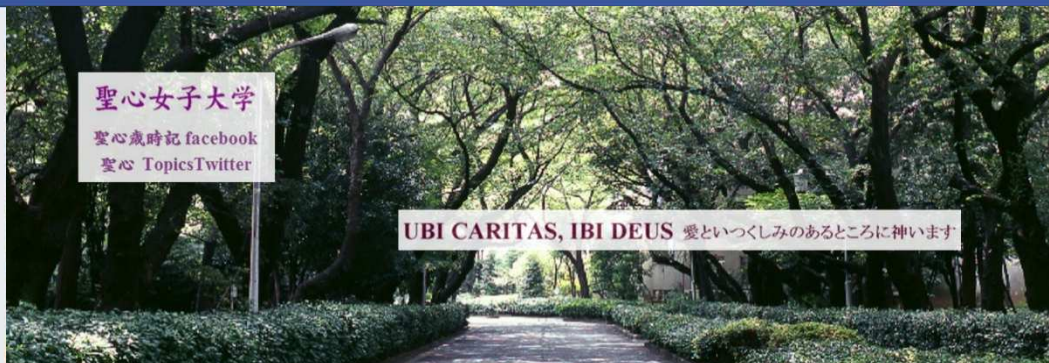




聖心女子大学  
「聖心歳時記」

@SeishinDiary



聖心女子大学「聖心歳時記」

作成者: goukaku@u-sacred-heart.ac.jp [?]

このページに「いいね！」する 9月10日

シリーズ学生記者が行く

ー広尾Walking2017ー

### 香林院

にぎやかな商店街のなかほかに建つ祥雲寺山門をくぐり、石堀に沿って歩くと、見えてくる院門に目が惹く。格調あるたたずまいの臨済宗大徳寺派 瑞泉山香林院。その木造の門は歴史を静かに語っている。然もありません、香林院は、はじめ麻布小平に寛文五(1665)年に建立され、のち江戸の大火によって現在の広尾の地に移された。院門、茶室は江戸時代から遺る建築である。とくに非公開の茶室は、数寄屋造り建築を多く手掛けた建築家・仰木魯堂によって建てられたもので、渋谷区指定有形文化財になっている。また、本堂、院門も文政八(1825)年江戸時代から遺る建築である。院門は美しい曲線が特徴的な門で、そこを抜けると本堂へつづいている。

仏事のイメージが強くなりがちなお寺。しかし「葬式事だけが寺院の仕事ではないことを伝えたい」とご住職の金嶽宗信さんは語る。

そんな金嶽さんの想いから、坐禅というものを広く知ってもらいたいと10年以上前から坐禅会をはじめられた。

坐禅会は平日の朝7時からと、日曜日の17時から行っている。参加する年齢層は20代から40代、そして年配の方と幅広い。外国の方や、さらには著名人までも坐禅を組みに足を運んでくることもしばしばだそう。

香林院では、坐禅会だけでなく、写経や日本舞踊、ヨガ、フラワーアレンジメントなど、さまざまな教室が催されており、文化的な活動の場としても開放されている。もちろんすべてご住職が教えられているわけではなく、それぞれ専門の先生方を外部から招いて行っている。

ご住職の金嶽さんは、一般家庭に育ちながらも12歳から京都大徳寺で修行をされた。そこでの修行は厳しく難行として知られているが、「僕は辛く感じなかったんですよ」と金嶽さんは笑顔で話してくださいました。決して楽ではない修行を、辛さも感じずに積んでこられた金嶽さんのお言葉から、この道のために生まれてこられたような方だと思わずにはいられない。

さらに、金嶽さんはメディアへの出演や大河ドラマの仏事監修もなさっており、撮影の秘話も話して下さいました。

興味を持たれた方はぜひ香林院へ実際に足を運んでみてはいかがでしょうか。荘厳な院門と温かいご住職が迎えてくれるだろう。

SRS(聖心 Radio Station)部員 吉田 直子(1年)

広尾散歩通りMAP “香林院”さんはA-2です。 <http://www.hiroo.info/>

